

# 親切運動の取組について

小矢部市立津沢中学校  
生徒数 128名

## 1 親切運動の取組の紹介

### (1) 「あいさつ運動」

12月上旬の1週間程度、生徒会を中心に玄関であいさつ運動を行った。

人権週間とも重なり、人権擁護委員の方とも一緒に行った。一人一人に声をかけ、進んであいさつし合える運動になったと思う。

生徒の元気な声で学校に活気が生まれました。



【あいさつ運動】

### (2) 「地域美化活動」

6月下旬に、校下一斉の美化活動を行いました。

生徒は各学年縦割りのグループで、3年生を中心に8～10名で構成し各清掃箇所を担当した。

学校ではいつもあまり手の届かない場所を集中して行った。校下にある公園やコミュニティプラザ、河川敷等普段よく通る場所を中心に、ゴミ拾い、草刈り、清掃をした。

いつもと違う場所を清掃することや、地域の方ともふれあうことで、生徒は短い時間でも充実感、達成感をもつことができた。

時期的に暑く、外で活動させることが不安な時期であり、これからは校外の活動も気を使うことが増えると感じている。



【地域美化活動】

### (3) 「花植えボランティア」

美化・ボランティア委員会を中心として、学校花壇の苗を植えるボランティア活動を企画した。

休み時間であったが、たくさんの生徒が楽しそうに植えていた。



【花植えボランティア】

### (4) 「落ち葉拾いボランティア」

美化・ボランティア委員会を中心として、学校の前庭に落ちている葉っぱを拾う活動を行った。学習発表会（10月後半）の1週間前の朝と、授業参観（11月後半）の1週間前の昼休みに、10分間落ち葉を掃き、きれいにした。

参加人数が多かったこと、すぐにきれいになったことで、やりがいのある活動となった。



【落ち葉拾いボランティア】

## 2 親切運動に取り組んで

### (1) 取組の成果

親切運動に取り組むことで、「人のために何かしたい」という心や「地域のためにできることを」という意識が少しずつ育っているように感じる。

もともと生徒は何かしたいという思いがあり、学校全体や生徒会委員会の特別活動として行うことで、より取り組みやすい活動になったと考えられる。

### (2) 課題と今後に向けて

よりたくさんの生徒が自主的に参加してもらうよう工夫することが必要である。